

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指し、特性や地域・学校の実情等を踏まえながら、カリキュラム・マネジメントに取り組む。	①SSHとしての特色ある教育課程の編成及び運用の検討を重ねるとともに、生徒の自己実現に向けた履修指導を行う。 ②主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業実践に向けて取組の充実を図る。 ③新学習指導要領に基づく教育課程について、適切な運用方法を検討し、確実に実施する。	①SSHとしての本校独自の教育課程の編成及び生徒の履修希望科目に沿った講座の編成や時間割の作成に努める。 ②校内及び公開研究授業等を通じ、生徒の主体的かつ論理的思考力の育成を目指した授業を実践する。 ③探究活動を中核としたサイエンスプログラムに取り組むことにより科学的探究力、協働能力、創造力の育成に取り組む。 ④生徒の履修希望科目に沿った講座を編成し、時間割を作成する。	①SSHとしてふさわしい教育課程となっているか。 ②「生徒による授業評価」において、課題解決に関する評価項目(3と6)の回答のうち、50%以上が「(項目4)かなり当てはまる」であったか。 ③生徒が主体的に探究活動に取り組み、成果を表現できたか。 ④生徒の履修希望科目に沿った講座を編成し、時間割を作成できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①学校行事、部活動、委員会活動を更に充実させ、その活動を通じて、人間形成を図り、全人教育を実践する。 ②生徒一人ひとりの個を尊重した支援体制をさらに充実させる。	①学校行事、部活動、委員会活動における課題解決を目指し、課題解決能力やコミュニケーション能力の成を図る。 ②教育相談全体支援会議と職員が協力して支援に必要な生徒の対応にあたる。	①行事や部活動等で職員の助言等のもと、生徒が課題を見つけ、話し合い等を通じて、必ずしも過去の取組に捉われず、その解決を目指すよう指導する。 ②教育相談全体支援会議で支援を必要とする生徒の情報を集約し関係職員と共有しながら適切な支援を行う。 ③中間検討会資料や新たな教育課題に関する資料を適切に作成して生徒の情報共有や教員の資質向上に資する。	①行事や部活動等で生徒が課題を見つけ、話し合い等を通じて、新たな工夫等も考えながらその解決を目指すことができたか。 ②職員が本校の支援体制を理解し、支援が必要な生徒の情報を共有し適切な支援を行うことができたか。 ③中間検討会や新たな教育課題に関する資料を作成・配付し、支援が必要な生徒の情報共有や教員の資質向上に資することができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒が進路希望の実現を達成できるよう、目的意識を持たせて学習意欲を高め、自主的に人生設計ができる資質を育む等、進路指導の充実を目ざす。	①学習指導と連携し、生徒の進路希望を共有して教科における学習活動やキャリア学習の機会を提供し、生徒を支援する体制を整える。 ②補習・講習及び実力試験を効果的に実施するとともに、その分析結果を生徒と共有することで生徒の進路意識を高め、進路実績を伸ばす。	①生徒の進路希望の実現に有益な学習の機会を提供してきめ細かなサポートを行い、進路や学習に対する意識を高める。 ②実力試験等の結果から年次ごとの特徴を分析し、適した働きかけを行い、実力を伸ばす支援を行う。	①キャリア行事や模擬試験等に、生徒が目的を理解して積極的に取り組んでいるか。 ②難関大学への合格者数、進学者数等の進路実績を高めるための具体的な取組を実践できたか。					
4	地域等との協働	地域との協働を推進し、地域から信頼される学校づくりを進める。	①生徒一人ひとりの幅広い学力の育成のため地域等の教育力を活用する。 ②地域に開かれ、地域と共にある学校を目指し、学校の教育活動の情報提供や学校運営協議会の促進等を行う。	①地域と連携し防災訓練・研修会等を実施する。 ①地域貢献活動等を計画して積極的に参加・実施する。 ②学校説明会・学校カミングデー・県西地区合同説明会等を開催、参加して地域から信頼される学校づくりを推進する。 ②ホームページを充実させ、日々の教育活動を誰が見ても分かりやすく提供する。	①防災避難訓練実施での職員間の連携及び生徒が適切に身を守る防災活動を実施したか。 ①地域貢献活動(年3回)を実施したか。 ②学校説明会・学校カミングデーの開催及び県西地区合同説明会等に参加して目的を達成できたか。 ②地域に開かれ地域と共にある学校を目指して学校の教育活動の情報提供や学校運営協議会の促進等を行えたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒の目標を達成するため、学校内外の人的・物的資源を活用し、教職員の人格的資源・専門性の向上を図る。 ②教職員全体で事故防止に取り組む。	①地域や多様な他者との連携・協働体制及びインフォーマル教育に係る環境と支援体制を整え、SSH事業を推進する。 ②職員一人ひとりの意識改革及び組織的に業務を遂行することで、事故・不祥事防止の徹底を図る。	①学校運営協議会を活用するとともに外部関連機関との協働・支援体制を構築する。 ②「成績処理」マニュアルに基づいて組織的な成績処理体制を整える。 ②「入学者選抜」について、実施要項に更なる工夫を加えるとともに研修会を実施し事故・不祥事防止の徹底を図る。	①SSHの取組として、外部との連携による協働体制及び支援体制が構築できたか。 ②「成績処理」マニュアルに基づいて、組織的に成績処理を行ったか。 ②「入学者選抜」の実施要項に基づいて業務を遂行し事故・不祥事を未然に防ぐことができたか。					